

池田町地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

池田町は、北海道十勝平野の中央やや東よりに位置し、総面積は71.91平方km、人口は令和2年の国勢調査で6,294人である。

町内の高齢化率が43.6%（R2）と全国平均を大きく上回り、幹線交通だけでは生活交通に期待される利便性の面で不十分であり、市街地内に存在する公共交通の空白地帯において、高齢者等の移動が制約され、地域社会から孤立する一因となっている。池田町内における生活交通手段を維持・確保し、地域住民の日常生活の移動や地域間幹線系統等との接続による広域的な移動支援を図っていく必要がある。

生活交通確保維持改善計画の目標

○池田町コミュニティバスの事業の目標

地域公共交通確保維持改善事業の実施に当たり以下の目標を設定する。

【あいバスの延べ利用者数】

令和7年度：7,800人以上、令和8年度：7,800人、令和9年度：7,800人

【あいバスの収支率】

令和7年度：4.1%、令和8年度4.0%、令和9年度：3.9%

【あいバスに対する公的資金投入額】

令和7年度：8,500千円、令和8年度：8,700千円、令和9年度：8,900千円

【あいバス⇔十勝バス帯広陸別線への乗り換え人数】

令和7年度：2人、令和8年度：2人、令和9年度：2人

【あいバス⇔JRへの乗り換え人数】

令和7年度：1人、令和8年度：1人、令和9年度：1人

令和7年度事業概要

運行路線名：循環線

運行区間：役場～池田駅～役場

運行回数：1日7便

運賃：1回100円（小中学生50円、乳幼児無料）

地域公共交通の現況

- ・JR根室線（池田駅、利別駅）
- ・十勝バス（株）（地域間幹線系統帯広陸別線）
- ・スクールバス（一般混乗6路線）
- ・コミュニティバス（あいバス1系統）
- ・タクシー（1社）

協議会開催状況

- 令和6年5月28日（令和6年度第1回地域公共交通活性化協議会）
令和6年度事業計画及び収支予算（案）について合意
フィーダー系統補助に係る計画認定申請について合意
- 令和6年12月26日（令和6年度第3回地域公共交通活性化協議会）
あいバスの運行内容見直し（案）について合意
地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価（案）について合意
- 令和7年1月27日（令和6年度第4回地域公共交通活性化協議会書面協議）
池田町利便増進実施計画（原案）について合意
- 令和7年3月19日（令和6年度第5回地域公共交通活性化協議会）
池田町地域公共交通利便増進実施計画（案）について合意
池田町地域公共交通計画の一部変更について合意
- 令和7年6月25日（令和7年度第1回地域公共交通活性化協議会）
令和7年度事業計画及び収支予算（案）について合意
フィーダー系統補助に係る計画認定申請について合意
- 令和7年7月23日（令和7年度第2回地域公共交通活性化協議会）
池田町地域公共交通利便増進実施計画（案）の一部変更について合意
池田町地域公共交通計画の一部変更について合意
- 令和7年9月2日（令和7年度第3回地域公共交通活性化協議会）
令和7年度補助分フィーダー系統補助に係る計画の変更について合意
令和8年度補助分フィーダー系統補助に係る計画の変更について合意
- 令和7年12月23日（令和7年度第4回地域公共交通活性化協議会書面協議）
地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価（案）について合意

令和7年度事業の実施状況

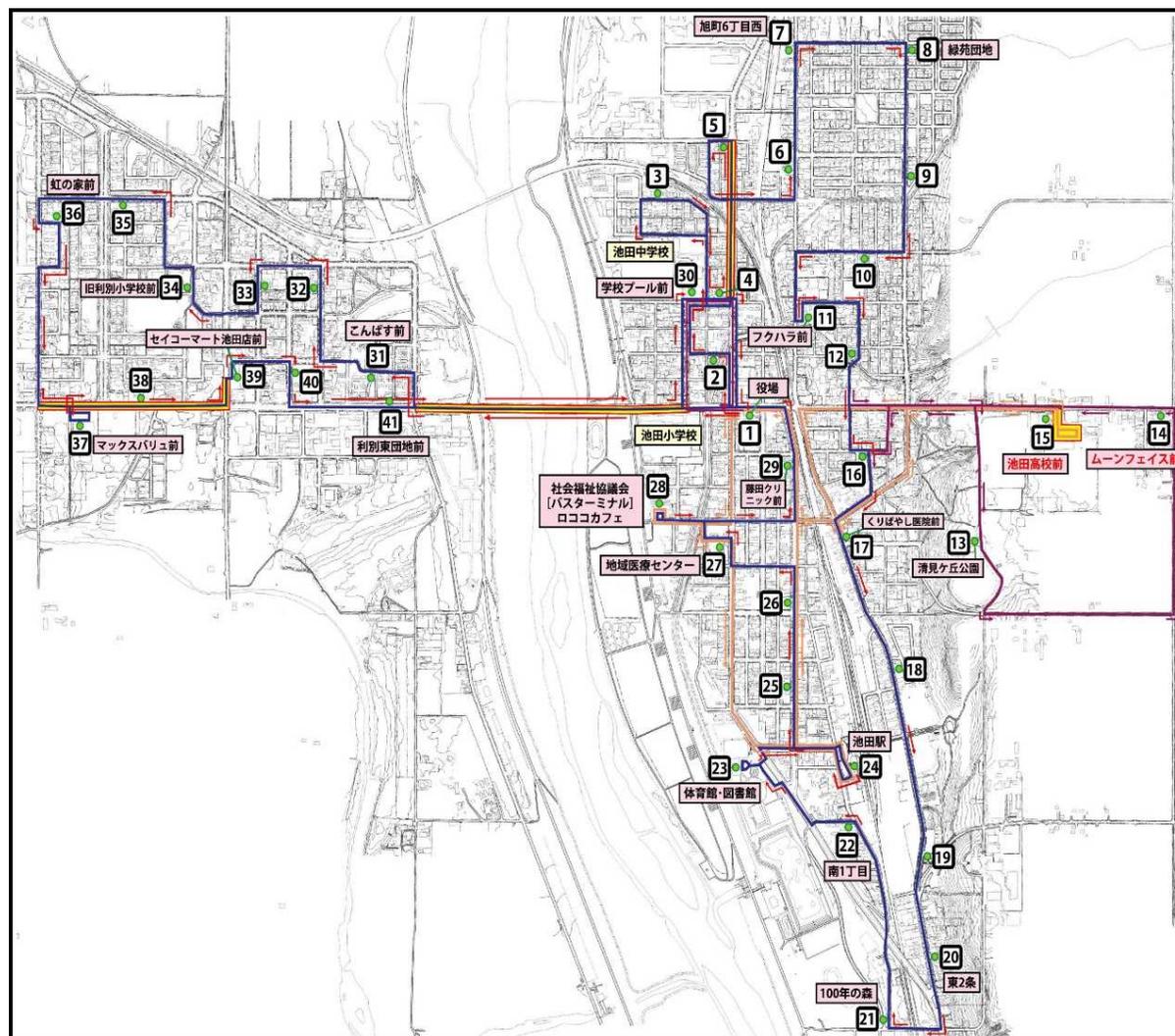
1) プロセス、創意工夫

・町ホームページへの路線図・時刻表の掲示・主要施設へのバス路線図・時刻表配置によるコミバス利用周知

2) 運行系統

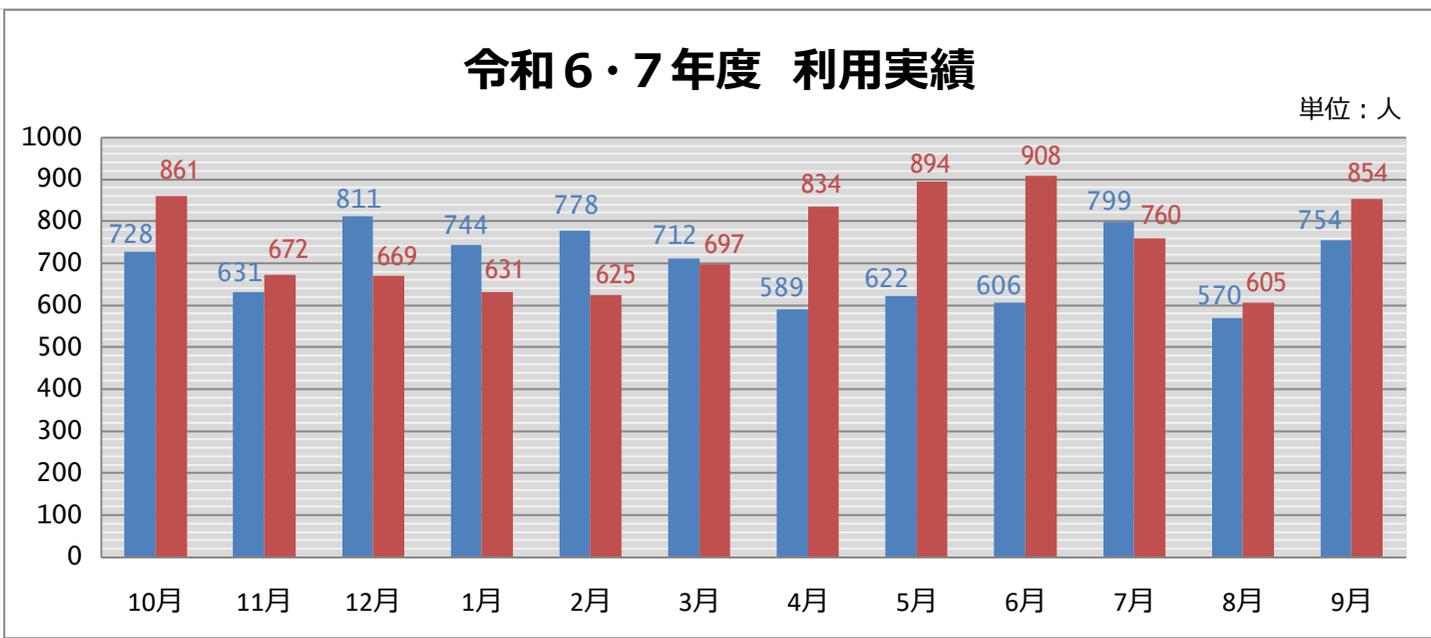
系統名：循環線

	路線
	走行方向
	1便スクールバス接続便
	4便～ 学校プール前・ムーンフェイス前経由
	フリー乗降禁止区間



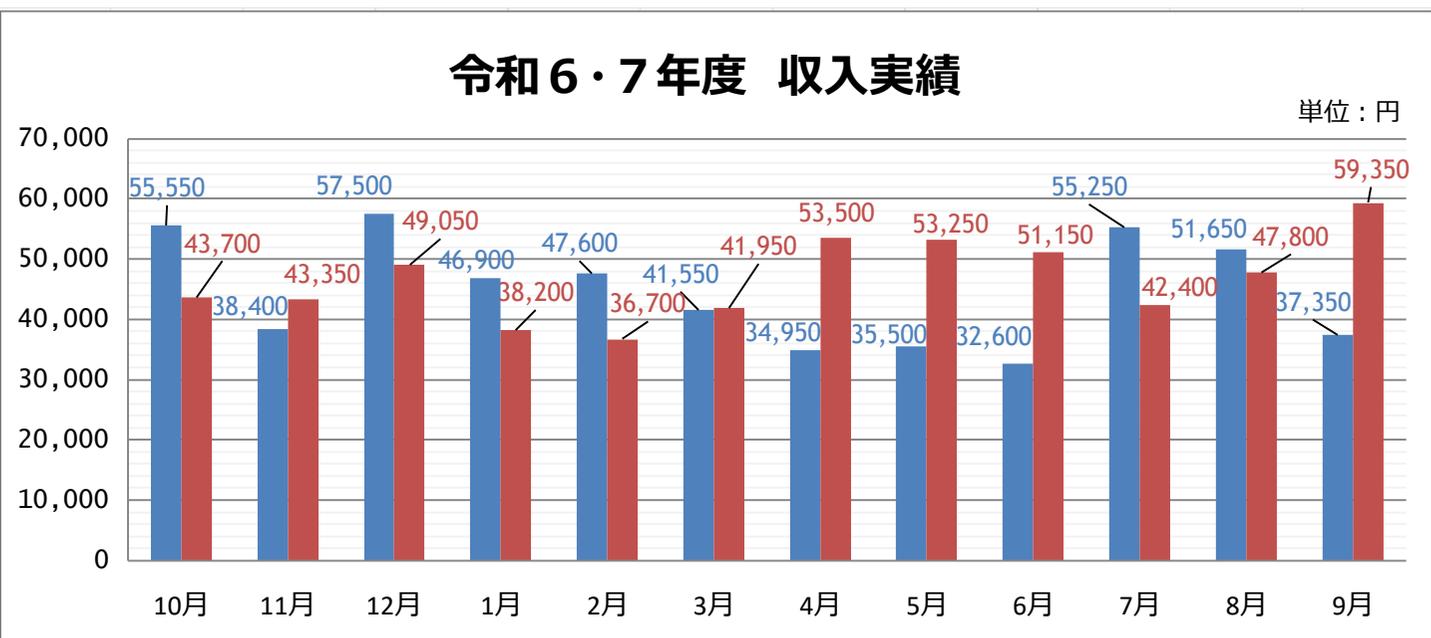
3) 利用実績

循環線		
月	令和6年度	令和7年度
10月	728	861
11月	631	672
12月	811	669
1月	744	631
2月	778	625
3月	712	697
4月	589	834
5月	622	894
6月	606	908
7月	799	760
8月	570	605
9月	754	854
合計	8,344	9,010



4) 収入実績

循環線		
月	令和6年度	令和7年度
10月	55,550	43,700
11月	38,400	43,350
12月	57,500	49,050
1月	46,900	38,200
2月	47,600	36,700
3月	41,550	41,950
4月	34,950	53,500
5月	35,500	53,250
6月	32,600	51,150
7月	55,250	42,400
8月	51,650	47,800
9月	37,350	59,350
合計	534,800	560,400



5) 事業実施の適切性

計画どおり事業は適切に実施された。

6) 目標・効果達成状況

○あいバス運行に係る目標・効果達成状況

- 1) 延べ利用者数：9,010人【目標7,800人】
- 2) 収支率：4.5%【目標4.1%】
- 3) 公的資金投入額：7,499千円【目標8,500千円】
- 4) 帯広陸別線への乗り換え人数：不明【目標2人】
- 5) JRへの乗り換え人数：不明【目標1人】

○車両の取得に係る目標・効果達成状況

- 1) 延べ利用者数：9,010人【目標7,800人以上】
- 2) 収支率：4.5%【目標3.9%以上】
- 3) 公的資金投入額：7,499千円【目標9,100千円以下】

- ・すべての項目において、目標を上回ることができた。（※）
- ・令和6年3月に池田町地域公共交通計画を策定したことにより、国庫補助金上限額が増額し、「3）公的資金（町費）投入額」を例年より抑えることができた。
- ・地域間幹線系統（帯広陸別線等）と支線のネットワークが構築され、広域的な移動を支援することができた。
- ・池田町市街地の交通空白地域を解消することで、交通弱者の買い物や通院、通学等の生活に関する移動手段が確保されたとともに、高齢者等が積極的に外出する機会の創出に寄与することができた。

※「4）帯広陸別線への乗り換え人数」及び「5）JRへの乗り換え人数」については、毎年9月に実施している乗降調査にて把握しているが、今年度は実施できなかったため、不明としている。

7) 事業の今後の改善点

今後も引き続き、利用状況や利用者ニーズを踏まえたバス路線への改善に努め、効率的な事業の推進を図る。また、町ホームページ等への路線図時刻表の掲示により、住民に対してコミバスに関する情報を周知する。

さらに、池田町地域公共交通活性化協議会により策定された池田町地域公共交通計画に基づき、農村部交通の確保に向けた検討や運行状況の見える化等、より利用しやすい交通機関となるよう改善を図っていく。

なお、令和6年度中に運行内容の見直しを行い、令和7年10月から新しい路線・時刻表によりコミバスの運行を開始している。

8) 地方運輸局等における二次評価結果

- ・自己評価のとおり、事業は適切に実施されている。
- ・すべての目標を上回っており、今後も地域公共交通計画に基づき、利用促進策の取組を継続することを期待する。